

MRI 用造影剤使用(注射)の説明・同意書

【茅ヶ崎市立病院病診連携用】

1. MRI 用造影剤とは

MRI 検査は造影剤なしでも検査できますが、MRI 用造影剤を静脈注射しながら行うことにより体の様子をより詳しく知ることができます。病気の種類によっては造影剤を使用して初めて診断可能なものも多くなります。

2. 副作用の種類や発生頻度は 危険を予め知ることは

MRI 用のガドリニウム造影剤は比較的安全な薬ですが、他の薬と同様に副作用が出現することがあります。

〈軽症〉吐気、蕁麻疹、発疹など(500~1000 人に 1 人)。多くは心配ありません。

〈重症〉血圧低下、息苦しさ、意識消失(数万人に 1 人)、点滴、昇圧剤、抗アレルギー薬などの治療が必要です。極めて稀ですが死亡するに至った例もあります。(約 83 万人に 1 人)。

残念ながら、こうした副作用がいつ発生するかを事前に知ることはできません。また前回の検査の際には異常がなくても、今回副作用が出ることもあります。

3. NSF(腎性全身性線維症)のリスク

長期透析が行われている終末期腎障害、eGFR(推算糸球体ろ過値)が 30ml/min/1.73 m²未満の慢性腎障害、急性腎障害の患者さんでは、ガドリニウム造影剤による NSF:腎性全身性線維症の発現リスクが上昇する事が報告されております。eGFR(推算糸球体ろ過値)が 30ml/min/1.73 m²未満の患者さんには、ガドリニウム造影剤投与を行いません。

4. 注射に同意されれば、下の同意書に署名のうえ、検査当日にお持ちください

患者さんが未成年や意識障害のある場合は、家族や代理の方の署名で結構です。もし造影剤の注射に気が進まなければ、得られる情報は減りますが造影剤を使用せずにMRI検査を行いますので、当日検査担当技師におっしゃって下さい。

また、アレルギー体質の方や持病によっては、副作用が出易いこともあるので、主治医との相談により注射をしない場合もあります。これについては検査前に確認させていただきます。

5. 同意書の有効期限

① 入院(同科): 1 回のご署名で入院期間中は結構です。2 回目以降は検査時に口頭で確認します。

② 外来: お手数ですが、毎回ご署名をお願いします。まとめて予約した検査は 1 枚で結構です。

令和 年 月 日 紹介元医療機関名

説 明 医 師 印

MRI 用造影剤使用(注射)の説明・同意書

私は MRI 用造影剤に関して、その必要性和副作用の可能性について説明を受け理解しました。私は MRI 用造影剤の血管内注射に同意します。また万一、副作用が出現した場合には必要な処置を受けることを承諾します。

令和 年 月 日 本人のご署名

家族等、代理の方のご署名

※患者本人が未成年者や成人であっても判断能力が十分でない場合には、代理人に署名される方が本人欄を代筆ください。